

看護研究 第23巻 総目次

1990年(第1号～第5号)

【焦点】

文化人類学的研究方法

解説 看護および医療における文化人類学的研究の方法……………138(2)

波平恵美子

座談会 文化人類学的研究方法の活用……………146(2)

波平恵美子／田村やよひ／南 裕子

海外文献 Ethnonursing: The Nursing Research Method to Generate Transcultural Nursing Knowledge

民族看護学：文化の違いを超えた看護知識を生み出すための看護研究法……………167(2)

Medeleine Leininger／訳・田村やよひ

研究 食養生を持続している人の食生活の実態と食養生を持続させている要因について……………185(2)

和田 素子

研究 Facing Life Transitions in an Alien Culture: The Case of American Women Giving Birth in Japan

異文化での生活の変化に直面して：日本で出産したアメリカ人女性たちの症例……………209(2)

N. S. Engel／訳・古庄しおり・岡谷 恵子

報告 「近代産婆」に関する研究とそのプロセス……………229(2)

西川 麦子

Grounded Theory Approach

解説 Grounded Theory の理解のために……………250(3)

木下 康仁

解説 看護研究への Grounded Theory の応用……………268(3)

村瀬 智子／樋口 康子

解説 看護研究方法における Grounded Theory 活用の動向——米国を中心に……………283(3)

片田 範子

研究 長期入院中の精神分裂病患者の時間の流れの速さに関する感覚の分析——結核患者との対比を通して……………290(3)

田中美恵子

原著論文 看護婦からみた患者の了解不能性の分析……………305(3)

川名 典子

座談会 看護研究に Grounded Theory を活用して……………317(3)

小代 聖香／川名 典子／片田 範子

現象学的アプローチ

解説 研究方法論としての現象学的アプローチ……………482(5)

山本 恵一

解説 M. メルロ＝ポンティの現象学的アプローチ——「知覚」論を中心に……………491(5)

伊藤 和弘

解説 看護における現象学的アプローチの活用……………499(5)

高橋 照子

解説 Interpretive Phenomenology as Theory and Method
理論と方法としての解釈的現象学……………505(5)

Patricia Benner／訳・片田 範子ほか

座談会 現象学的アプローチによる研究の進め方と問題点……………515(5)

山本 恵一／広瀬 寛子／高橋 照子

研究 看護婦—患者関係の成立・発展を阻む看護婦の精神内界における要因分析——精神科病棟の参加観察を通して……………529(5)

上野 恭子

研究 看護学教育における集中的グループ体験のもつ教育的機能に関する研究——現象学的方法を用いて……………537(5)

広瀬 寛子

【特集】看護教育における評価研究——教育プログラムの効果はどのように測ることができるか

1. 看護教育プログラムにおける評価研究……………3(1)
Rheba de Tornyay
2. 有用なプログラム評価のデザイン……………19(1)
Christine A. Tanner
3. プログラム評価の方法論における基本概念 ……31(1)
Christine A. Tanner
4. 質的および量的方法における信頼性と妥当性
……………47(1)
Christine A. Tanner
5. プログラム効果の評価：臨床上の意思決定をする際の実践能力の測定……………63(1)
Christine A. Tanner
6. 看護教育プログラムの評価——日本における研究事例……………77(1)
香春 知永
7. 評価研究における倫理的問題……………89(1)
Rheba de Tornyay
8. 評価研究の将来の方向……………97(1)
Rheba de Tornyay
9. シンポジウム：看護教育はなぜ高められる必要があるのだろうか——大学院教育の必要性に焦点をあてて……………105(1)
看護学における大学院教育への期待：大学院教育を開設した立場から……………107(1)
Rheba de Tornyay
臨床実践能力の発達過程：大学および大学院教育の効果……………110(1)
Christine A. Tanner
日本における大学院教育に求められるものとその背景……………112(1)
南 裕子
なぜ修士課程・博士課程なのか：第1期博士課程院生として……………118(1)
黒田 裕子
10. 討 議……………123(1)

【特集】看護教育における教育方法——Clinical Judgement はどのように育てられるか

1. 看護における Clinical Judgement の基本的概念……………351(4)
Sheila A. Corcoran
2. Clinical Judgement の教育と研究の動向……………361(4)
Sheila A. Corcoran
3. 教育と相談の領域における臨床判断……………371(4)
都留 春夫
4. 分析的判断の教育方法……………391(4)
Sheila A. Corcoran

5. 直観的判断の教育方法……………407(4)
Sheila A. Corcoran
6. シンポジウム：Clinical Judgement はどのように育てられるか……………423(4)
臨床実習を通しての学生の成長過程……………424(4)
堀内 成子
小児看護を学ぶ学生の臨床判断の成長……………429(4)
片田 範子
臨床で看護婦として働き始めての1年半を振り返って……………432(4)
藤田 朗子
臨床実践における臨床判断の育成……………434(4)
岡谷 恵子

文献 Task Complexity and Nursing Expertise as Factors in Decision Making
意思決定における要因としての課題の複雑性と看護の専門的知識……………451(4)
Sheila A. Corcoran／訳・小島 操子

文献 Critical Care Education——“Thinking Aloud” as a Strategy to Improve Clinical Decision Making
救命援助の教育——臨床における判断力を上達させる方法としての“思考の言語化”……………459(4)
S. A. Corcoran, S. Narayan, H. Moreland
訳・手島 恵

文献 Teaching Clinical Judgement
クリニカル・ジャッジメントの教育……………466(4)
C. A. Tanner／訳・堀内 成子・片田 範子

【Study & Review】

臨床実習における教師の学生へのかかわり方について……………329(3)
榎木野裕美
コメント……………335(3)
中西 睦子

【英語論文へのアプローチ】

内海 滉
誤訳のすすめ(5)……………241(2)
誤訳のすすめ(6)……………339(3)
誤訳のすすめ(7)……………549(5)

【書 評】

臨床看護研究の進歩 Vol. 1……………246(2)
堀 喜久子
生と死に向き合う看護——自己理解からの出発……………345(3)
見藤 隆子
母性の心理社会的側面と看護ケア……………554(5)
松岡 恵
看護モデルの理解 分析と評価……………555(5)
松木 光子